



見守り活動NEWS！

＜第4号「事例紹介」＞

みなさまから、平成31年度中に『見守り活動において「こんなことがあった」事例を教えてください』とお願いしたところ、「西千葉地区部会」「白旗台地区部会」「星久喜地区部会」「東千葉地区部会」「中央東地区部会」「犢橋地区部会」「小中台西地区部会」「白井地区部会」「誉田地区部会」「幕張西地区部会」様よりご紹介を頂きました。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

感謝されたこと、役に立ったこと、残念だったことまで、様々な悲喜こもごもの事例をご紹介いただきました。プライバシーの問題、担い手不足など課題も多いとは存じますが、少しでも皆様のご参考になれば、と思っております。

なお、個人情報保護の観点から、一部事実と違うもの、脚色しているもの、掲載を見送ったものがあります。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月 千葉市社会福祉協議会

事例1

見守り対象者	Aさん（80代・男性）
異常サイン	民生委員が依頼のあった安心カードを届けに来たところ、Aさんの様子が以前の様子とまるで違い、異変を感じた。
対応状況	民生委員がコーディネーターに連絡。駆け付けたコーディネーターが救急車を手配し、病院に同行した。 病名は脳梗塞で、救急病院に1か月ほど入院し、その後リハビリ病院に転院し、4か月ほど入院した。
対応結果	現在は退院し、娘さん宅の近くの施設に入所している。





事例 2

見守り対象者	Bさん（女性・70歳代）
異常サイン	訪問時不在だった。
対応状況	高齢者対象のイベント案内をポストに投函した。
対応結果	後日訪問した際、不在時にポストにイベントの案内があったことと訪問したことへのお礼をいただいた。訪問不在時の対応について、カードを置くなりしてコミュニケーションを深めていきたいと感じた。

事例 3

見守り対象者	Cさん（女性・80歳代）
異常サイン	訪問して声掛けをしたが返答がなく、雨戸が閉まりっぱなしになっていた。
対応状況	近隣宅にて状況を確認したところ、10日ほど前に救急車にて搬送され、そのまま入院となっていた。
対応結果	当月末には退院された。

事例 4

見守り対象者	Dさん（女性・不明）
異常サイン	町内の道路で頭から血を流してうずくまっていた
対応状況	発見した見守り協力員が手当てをし、民生委員に連絡を取ったところ、ご存じの方だということで現場に来てもらった。「病院に行きましょうか？」との問いに「大丈夫です」との返答だったが、家族に連絡を取り、車で迎えに来てもらった。
対応結果	見守り協力員と民生委員の連携プレーにより、大事に至らず無事家族に引き継ぐことが出来た。

事例 5

見守り対象者	Eさん（男性・50～60歳代）
異常サイン	朝、団地入口の通路でバイク（自車）の下敷きになって倒れていた
対応状況	バイクをどかしたところEさんは意識もきちんとあって、「救急車を呼びましょうか？」との問いに「いや、大丈夫です。呼ばなくていい」との返答だった。偶然通りがかった団地入居者の方と一緒に男性に肩を貸して自宅まで帰宅させた。その後、またバイクで出かけている様子だった。
対応結果	後日、団地の向かいの中学校より電話が入り、ある一室が「雨戸もカーテンも開いて、電気もつけっ放し」と聞き、役員間で連絡を取り、警察へ連絡したところ、室内でEさんが亡くなられていた。



事例 6

見守り対象者	Fさん（50歳代）
異常サイン	2日間ほど、雨戸が閉めてあると近所の人から連絡があった。
対応状況	あんしんケアセンターに連絡し、調査を依頼したところ、短期で介護センターに入居との返事があったため、近所の人にその旨を連絡した。
対応結果	その後退院し、自宅に戻られた。

事例 7

見守り対象者	Gさん（男性・60歳代）
異常サイン	新聞、郵便受けがいっぱいになり、あふれていた。ノックにも、自宅に電話してもつながらない。
対応状況	偶然帰宅したところに遭遇することができ、入院していたことが判明した。色々な人が心配していたことを伝え、携帯電話の番号を教えてもらった。
対応結果	それからは、急に入院することになった時には連絡をくれるようになった。若いけれど、独り身で、身体に病気もある方だったので、高齢者の他にも見守りの必要性を感じた。

事例 8

見守り対象者	Hさん（男性・80歳代）
異常サイン	買い物に行く姿を見かけない。新聞がたまり始めた。
対応状況	民生委員が訪問するが出てこなかったため、警察と連絡を取り、再度訪問したところ、生存を確認できた。かなり体調が悪化しており、あんしんケアセンターと民生委員で救急車を要請した。
対応結果	4か月半の入院を経て無事退院。現在、自宅で介護保険を検討しながらリハビリ中である。

事例 9

見守り対象者	Iさん（男性・80歳代）
異常サイン	新聞受けがいっぱいになっている。
対応状況	協力員が民生委員を通じて、離れて暮らす娘さんに連絡をとった。 警察立ち合いで訪問したところ、家の中で倒れていた。
対応結果	緊急搬送し、入院となった。